

上海莱弥信息咨询有限公司(インサイト) 東京事務所 顧問 有田直矢

日本でも米特斯拉の株価の好調などはたびたび報じられているが、中国ではその比ではない。後述のように、日本ではほとんど特斯拉は走っていないのでやむを得ないかもしれない。本当に中国は特斯拉が大好きだ。それだけ切り取ってみると、米中貿易戦争など全く感じさせない、遠い異国の出来事のようなのだ。

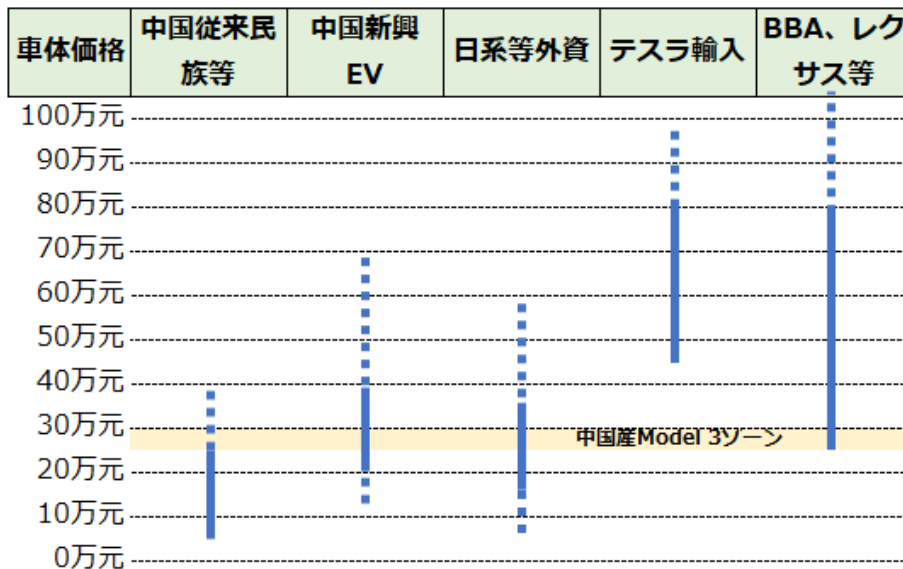
2020年1月7日、特斯拉 CEO のイーロン・マスク氏が訪中。上海郊外に新設したいわゆるギガファクトリー3で、中国産「Model 3」の一般向け納車を記念するイベントに出席。その場でのぎこちない踊りも話題になった。

まさに「踊りだすほど中国市場楽観」姿勢だ。また、マスク氏は9日には北京で李克強首相と会談、「中国を愛している」と求愛すると、李首相は「あなたに中国の永住権を差し上げましょう」と冗談で返す蜜月ぶり。

中国産「Model 3」は30万元を切る価格帯で、輸入するよりも相当安い。さらに一部に、中国生産が順調に進み、その効率を高められれば、いずれ25万元程度に引き下げることが可能、との指摘も出始めた。

この中国生産の価格引き下げに対する可能性が、中国の新エネルギー車(NEV)界に衝撃を与えた。「中国人みんな大好き特斯拉“Model 3”がそんなに安く入手できてしまうのでは、中国新興EVメーカーはもちろん、既存の国有・民間系のメーカーも大打撃だ」というもの。

中国自動車価格の価格レンジイメージ



※あくまでもイメージであり例外はある。実線が主流派、点線はあるにはある

※BBAは、独系ラグジュアリー、ベンツ・BMW・アウディの三社

中国における特斯拉人気は止まるところを知らない。特斯拉は2019年、全世界で前年比5割増の36万7500台を出荷したと発表している。中国産「Model 3」はまだ消費者の手元に届いていないと思われる段階で、中国における特斯拉車の登記台数は2019年、前年比6割増の4万2715台に達している。